

逗子聖和学院中学校

INFORMATION

説明会 いずれも 10:00～12:00 (予約不要)

※アロマスプレー制作 (要予約) 8/22 (土)
 ※アロマスプレー制作 (要予約) 8/29 (土)
 9/12 (土)
 10/10 (土)
 10/31 (土)
 11/14 (土)
 11/28 (土)
 ※クリスマスイベント (要予約) 12/12 (土)
 ※入試問題解説会 (要予約) 1/9 (土)

ミニ説明会 いずれも 10:00～12:00 (要予約)

9/26 (土)
 12/19 (土)
 12/26 (土)
 個別相談会 10:00～12:00 (要予約)
 1/16 (土)
 1/23 (土)

校歌の紹介

三朝君系にうまれ
 かたがたのいそぎや
 望みかたに果立つ日も
 窓の祈りを人の幸に
 聖和の園よあけ
 ふるふと

二夢は名木の名のこころ
 清く根をけり枝を張り
 学ぶ心にこころこれ
 春ささやく母の聲
 聖和の園よあけ
 そよかせ

校歌
 作詩 宮沢章二
 作曲 大中 恩

聖和学院が逗子の街や海、山、そして人とともにある
 ことが感じられる私たちのお気に入りの校歌です。童
 謡の「さっちゃん」や「犬のおまわりさん」を手がけた
 大中恩氏作曲のメロディも印象的で、卒業しても、ふと
 したときに口ずさみます。これからも聖和学院の生徒
 たちはさわやかな風に包まれ逗子から未来へ羽ばたい
 ていきます。

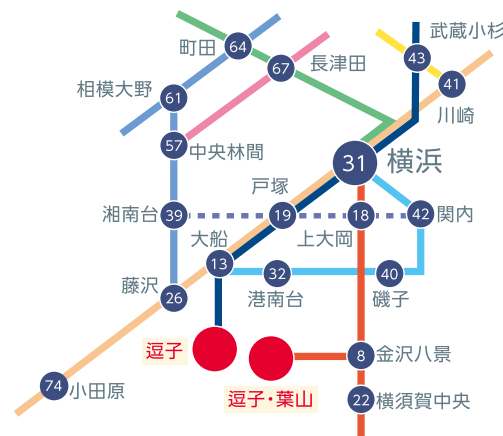
ACCESS

JR 横須賀線：逗子駅西口より 徒歩 8 分
 京浜急行：逗子・葉山駅北口より 徒歩 10 分



各駅からの所要時間

※所要時間は最短時間の目安です



To Co-Create the Future!

飛躍的に伸びる未来の主役へ



心の教育

キリスト教精神に基づく心の
教育が太い幹です

学院生は「温順 勤勉 愛」の校訓のもと
様々な課題に真正面から向き合い
心をこめて考えます



「神は愛なり」を建学の精神とする聖和学院では、礼拝・聖書の授業・宗教行事などを中心に、キリスト教精神に基づいた「心の教育」を実践しています。また、聖書の授業では「異文化共生」の感覚と教養を深めることができます。

4C Learning の土台となるのが
キリスト教精神に基づく心の教育です

TOPIC 01

3年連続
DXハイスクールに採択

DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)とは、情報と数学を強化し、文理融合型で、ICTを活用した探究的な学びを強化する学校を支援する文部科学省の新事業です。聖和学院は令和6年度・7年度・8年度3年連続DXハイスクールに採択されました。

TOPIC 02

日本女子大学と
「高大連携協定」締結

2023年11月、聖和学院は、日本女子大学と、大学教育と高等教育の連携を密にするために高大連携協定を締結しました。大学の授業を受けることができ大学入学後の単位としても認定されます。また推薦入学の枠も拡大され、世界で活躍する女性リーダーの育成に努めています。

TOPIC 03

学力伸長度ランキング
2年連続総合第2位

「週刊ダイヤモンド」合併特大号(2023年4月、2024年4月)に首都圏中高一貫校「学力伸長度」ランキング2年連続総合第2位(県内1位)と掲載されました。英語教育をはじめ、きめ細かい指導が大学受験に強い学校として評価されています。

01

Communication
[コミュニケーション]

さまざまな人と気持ちや意見を伝え合うことができる力、それがコミュニケーション力です。聖和学院では、国内外のたくさんの人々と交流する機会を通して、「自己肯定感が育まれる学びの空間」を創り上げています。

02

Consensus
[コンセンサス]

生徒の多様性を大切にする聖和学院では、「みんながリーダーであり、サポーター」です。授業や行事、部活動、ワークショップなどで進行役やまとめ役を務める経験を積み、コンセンサスをつくっていきます。

SEIWA 4C Learning

03

Collaboration
[コラボレーション]

コラボレーションは、ともに課題に取り組み、力を出し合っ
て成果を上げること。学内だけでなく、自治体や大学・企業・
教育機関とも積極的に共同作業や共同制作に取り組んで、
多くの力が結集するすばらしさを味わいます。

04

Co-Creation
[コ・クリエイション]

未来に向けて新たな価値を共に創り出します。仲間と意見を
交わし、多様な考え方を認め合いながら、新しい価値を生み出
す力を育てます。全員が主役となってこれからの時代を切り
拓く「未来共創力」を育みます。

※4C Learningとは、「あなたを未来の主役にする」ことをめざす聖和学院オリジナルの学びのかたちです。



「みんなが主役 毎日が主役」 聖和が目指す 非認知スキルが育まれる 学びの環境

令和8年度 中学教育課程表					
区分(教科)		1年	2年	3年	合計
必修教科 単位数	国語	5	5	5	15
	社会	3	4	4	11
	数学	5	5	4	14
	理科	4	4	4	12
	音楽	1.5	1	1	3.5
	美術	1.5	1	1	3.5
	保健体育	3	3	3	9
	技術・家庭	2	2	1	5
外国語		4	4	5	13
聖書		1	1	1	3
L.H.R		1	1	1	3
選択教科	英語	1	1	—	2
	国語	—	—	1	1
	数学	1	1	2	4
総合的な学習(英語 or 探究)		2	2	2	6
合 計		35	35	35	105

※令和8年度入学生の3年間用

＋ 実用的な英語力と大学入試に対応する 英語力を両立して習得

実社会におけるツールとして十分に通用する実用的な英語力を育てると同時に、難関大学の入試においても高い得点力を発揮できる英語力を育成します。これが、聖和学院における英語教育の狙いです。

教材は四技能をバランスよく学ぶだけでなく、論理的思考力や表現力を育てられるものを厳選。教科書の各ユニットでリーディングや英文法を繰り返し学習します。また、スマートフォンを活用した自学自習や、ICT機器を活用した留学体験などを通して英語力の定着を図ります。

さらに、ネイティブ教員によるイメージ教育も取り入れており、プログラミングを英語で学ぶなど、教科の枠を超えた実践的な学びを展開しています。

＋ イングリッシュキャンプ

夏休みに、ネイティブ教員と3泊4日のイングリッシュキャンプを行います。1日丸ごと「英語漬け」の環境で、コミュニケーション能力を育成し、その成果をスピーチコンテストやプレゼンテーションに挑戦します。



＋ ネイティブ教員たちとの交流で多様な文化に触れる

ネイティブ教員は学校にいるのがあたりまえの存在で、英語の授業だけでなく、ふだんから気軽に生徒と交流しています。一緒にクッキングをしたり茶道をたしなむなど、生徒は日本にいながらにして多文化を体験し、多様性の大切さを実感します。その意識が、誰に対しても、公平・公正に接する姿勢につながっています。



聖和学院では、グローバル教育プログラムの一環として、時事問題や環境問題など、身の回りにあるさまざまな「課題」を、国際人の視点で解決するケーススタディを行います。



＋ DX キャンプ

DX教育はパートナーシップを締結しているソニーグローバルエデュケーションによる聖和学院オリジナルカリキュラムです。ソニーの開発部スタッフによる最先端の授業・ワークショップです。生成AI学習プログラムでは、中国語・英語・フランス語・ドイツ語などを翻訳するアプリを作ります。



＋ 聖光学院 × 聖和学院 合同ワークショップ

聖光学院中学校にてロボットプログラミングの特別講座を実施しています。両校の中学生混合グループに分かれテーマに沿ったロボットを制作し、グループごとにプレゼンテーションを行います。



＋ 最新の ICT 環境

SEIWA コモンズにはハイスペックPC (WindowsとMac) や3Dプリンタ、3Dスキャナー、ドローン等を備えています。



グローバル教育×データサイエンス=WGL Project (女性リーダーの育成)

(Women's Global Leadership Project)

創立以来、英語教育に力を注いできた聖和学院では、その伝統を礎に、神奈川県で唯一の英語科としてよりハイレベルな英語教育を展開しています。海外で活躍する女性リーダーをロールモデルに、将来の自分像を描く “Women's Global Leadership Project”を導入。時事問題などを題材にクリティカル・シンキングを養いながら、国際社会で主体的に活躍できる女性を育成します。

自己肯定感を育む学びの空間

聖和学院では、生徒一人ひとりの興味や個性を大切に、主体的な学びを支える多彩なオリジナルプログラムを展開しています。授業の枠を超えたさまざまな体験や仲間との協働を通して、新しい自分を発見し、「挑戦できた」「やり遂げた」という経験を積み重ねることで、自信と自己肯定感を育みます。

創立者の想いを礎とした女子教育



1942年、当時唯一の女子高等教育機関であった日本女子大学を卒業した創立者の武藤 功は、25歳の若さで緑豊かな逗子の地に、聖和学院を創設しました。女性に教育は必要ないといわれていた時代に「女性を人間として育てたい」「将来の人物を輩出する、その種まき人になるように」という信念をもち、国際的に通用できる女性を育成することにすでに熱い想いを抱いていたのです。また、当時より英語の必要性を認識し、さまざまな教育プログラムを積極的に取り入れてきました。1972年8月、武藤功は、ロンドンで開催された



第21回世界教育者会議に日本人でただ一人参加しました。この会議において当時英国の教育科学大臣であったマーガレット・サッチャー女史(後の英国首相)と親しく懇談、教育に対する識見と理想に共鳴し、以来、親交が続きました。そのことが、現在も県内唯一である「英語科」設置のルーツになっています。1987年に「英語科」を設置し、1988年には県内初の海外ホームステイに取り組む「ニュージーランド語学研修」を実施しました。さらに1980年代よりコンピュータを使った情報処理教育を強化、2005年にはPCによる英語教育を開始しています。こうして、聖和学院は創立者の想いを継承し、常に英語指導の最先端を走り続けています。



2005年PCの授業



地域における取り組み

●地域と連携して取り組む防災・減災プロジェクト

私たちの街「逗子市」を調べ、地域や行政の方々と協働で防災や減災について考えています。逗子ハイランド自治会(1,300世帯)のみなさんと防災共同活動に取り組み、防災ハンドブック「家族でつくるじぶん防災帳」を作成しました。



●湘南青少年環境会議で環境についてプレゼンテーション

今年3月に逗子市の協力のもと逗子ロータリークラブ主催の「湘南青少年環境会議in逗子2026」が聖和学院にて行われました。本校は「ゴールドコーストと逗子市に学ぶ海環境保全」をテーマに発表しました。さらにワークショップを通じて同世代の中高生による熱心なディスカッションで神奈川県の問題解決に向けて大きく前進しました。



01 SEIWA 模擬国連大会



Summer Camp

夏休みのサマーキャンプの集大成は「SEIWA 模擬国連大会」。ディベートやプレゼンテーションを重ねて、論理的思考力や国際交渉力も身につけます。

02 マナー講座



美しい礼儀作法を「自分のもの」にしよう!

1987年英語科開設と同時に国際教育の一環として「JALマナー講座」をいち早く取り入れ、グローバル社会で求められるマナーや立ち振る舞い、あらゆる場面での心づかい等を学んでいます。美しい礼儀作法や立ち居振る舞いを身につけることで、自信をもって行動できる力を育みます。

03 プレゼンテーション



自らのことばで相手の心を動かそう

どうしたら自分の意見に説得力を持たせられるだろう?——少し難しいと思うような課題も、友だちや先輩、後輩と一緒にだから大丈夫! チームで協力しながら「よりよいもの」を創り上げる楽しさを学びます。

04 大学模擬授業



人間科学から防災・避難を考える

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部准教授 古山周太郎先生による特別授業。心理学や行動科学の視点を交えながら、「いざというとき、人はどのように行動するのか」を探求しました。防災・避難について科学的に考え、日常生活にもつながる学びを深める貴重な機会となりました。

05 ビブリオバトル



自分の好きな本をみんなに伝えたい!

ビブリオバトルはゲーム感覚の書評合戦。ビブリオバトル者たちがおススメ本を紹介し、みんながいっぱい読みたくなったチャンプ本を決定します。「この本の魅力を伝えたい」ということで、読書がますます楽しくなります。

06 データサイエンス



データを正しく読み解く力を養う

横浜市立大学 国際総合科学群 長データサイエンス学部教授 土屋隆裕先生による特別講演を開催しました。ビッグデータやアンケート調査を題材に、統計の考え方やデータの見方について学びました。身近な事例を通して、人の心理とデータの関係を考えながら、データサイエンスへの理解を深める貴重な機会となりました。

学習とキャリアデザイン

学 習

基礎学力の定着を図る

英語はネイティブの先生の指導のもと、徹底して4技能を育成。国語はディスカッションやビブリオバトルを通して論理的な文章で組み立てる力を培い、数学は中高一貫校向けの教材を使って体系的に学び、専門性を高めます。

1st stage

中学1年

中学2年

中学3年

キャリアデザイン

「好き」を見極め、夢を見つける

学校生活のさまざまな場面で「好き」「楽しい」と感じることを見極め、中2の「学科選択ガイダンス」を通して、高校で「英語科」「普通科」のどちらに進学するかを考えます。



自らの「好き」「楽しい」という気持ちを夢につなげるには、どの道を選択すればいいか—現在の自分の状況と、ここまで得た情報をもとに面談を重ね、進学を希望する科を決定します。



学 習

応用を拡充する

大学入試まで見据えて、各コース、各科とも応用力を拡充します。英語はイングリッシュキャンプ、プレゼンテーション、スピーチコンテスト、DXキャンプ、英検強化対策等、多くの視点からスキルアップをめざします。国語はより高度な内容の評論文を用いて論理的思考力と表現力を育成。数学は習熟度別授業で個人の能力を高め、学問としての数学体系を理解していきます。

2nd stage

高校1年

グローバル
コース

リベラル
コース

学 習

第一志望合格をめざす

社会に貢献する力を培うステップとなる大学入試を突破するために、より実践的な授業を展開します。それぞれの志望に合わせて、一般型選抜、総合型選抜、学校推薦選抜など、さまざまな入試に関する対策に取り組んでいます。

3rd stage

高校2年

高校3年

グローバル
サイエンスコース

グローバル
プレップコース

リベラル
サイエンスコース

リベラル
プレップコース

キャリアデザイン

夢を実現する進路を選ぶ

きめ細やかな「進学ガイダンス」や「進路面談」を実施。夢を実現するには、どの大学のどの学部に進めばいいかを考えます。



自らの個性や適性を理解し、目標達成に向けて、実力を最大限発揮できるように、モチベーションを高めます。



6ヵ年一貫教育の成果～「22歳の夢」を叶えるメッセージ

私の「22歳の夢」は「経済という学問を通じて世界の平和に貢献すること」です

2025年3月 聖和学院高等学校卒業

2025年4月 大阪大学経済学部進学 C.K.さん

私の「22歳の夢」は「経済という学問を通じて世界の平和に貢献すること」です。争いや対立の多くは、経済的不安や貧困を背景に生じています。国や指導者が繁栄を追い求める中で、戦争が引き起こされることもあります。だからこそ、経済の本質を学び、より良い社会の在り方を考える力を身につけたい。そのような思いが、夢の原点になりました。夢に向かって考える中で、世界史の学びが大きなヒントをくれました。どの時代・どの地域においても、社会の転換点には経済が深く関わっていることに気づいたのです。戦争や発展の背景にある経済の動きを理解することで、より広い視野から社会を捉えたいという思いが芽生え、私は大阪大学経済学部を志望しました。経済と経営の双方をバランスよく学ぶことができる点に、大きな魅力を感じたからです。

大学では、「最低賃金を上げれば生活が良くなる」という考えも、国の制度や状況によっては当てはまらないことがあると学びました。法制度の整備状況や歴史的背景の違いによって、国の経済成長の道筋が大きく異なることも知り、視野が広がっていることを実感しています。今後はさらに経済という学問に深く向き合っていきたいと考えています。



聖和学院は少人数制で、生徒一人ひとりが主体的に行動する機会に恵まれていました。生徒会長としての活動や、地域の防災・減災をテーマにしたパンフレットの作成など、学校内外を問わず多様な経験を重ねることができました。そうした活動を通じて、協調性や責任感、人に伝える力、そして自ら学ぶ姿勢を養うことができたと感じています。与えられた環境や経験を、自分の糧とできるかどうか。それを学びに変えられるかどうかで、成長のあり方は大きく変わります。学院生活を通して、学ぶ姿勢こそがその後の歩みに深く影響することを実感しました。

「22歳の夢」を考えることは、自分の未来と向き合い、自らの手で道を切り拓くことだと気づかせてくれました。未来は誰かに与えられるものではなく、自分自身の意志で選び取るもの。そうした自主性を、聖和学院は育んでくれたのだと思います。校訓である「温順・勤勉・愛」の精神を胸に、これからも他者に寄り添い、必要なときに手を差し伸べられる人間でありたいと願っています。聖和学院で過ごした日々があったからこそ、今の私があります。

「22歳の夢」からその先の未来で実感したこと

2025年4月 京都大学大学院博士課程1年／理化学研究所

生命機能科学研究センター 大学院生リサーチアソシエイト M.K.さん

経歴：2019年3月 聖和学院高等学校卒業、2023年3月 筑波大学生命環境学群生物資源学類 卒業、

2025年3月 筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究群 生物資源科学学位プログラム 博士前期課程 修了

私は今、すでに「22歳」を過ぎ、中学・高校時代に夢を語り合っていた友人たちと共に、「22歳の夢」のその先の未来にいます。そこで実感したのは、22歳は通過点であり、同時に分岐点でもあったということです。しかしこの分岐点で、「22歳のその先の夢」を描く力は、たしかに聖和学院で培ったものだったと感じています。

私はずっと食べることが大好きで健康食品の効果にも興味がありました。そこで描いた「22歳の夢」は、たくさん食べても健康でいられるような食品を開発したいというものでした。高校生のとき、自然が豊かで研究機関も多く存在するつくばという町と、その中心である筑波大学に一目惚れしました。そして、甘味料に関する研究を行っている先生がいらした生物資源学類へ進学しました。しかし、学びを進める中で、「生物」自体がまだまだ謎に満ちていることを知りました。より根本から生物をしりたいと思い、精子や卵子、受精卵を作るのに必要な遺伝子について研究している研究室へ進みました。実際の22歳の私は、高校時代の夢とは少し異なるものの、忙しくも充実した研究生活を送っていました。

とはいえ、やっぱり食べることが好きだし、おやつのパッケージの裏を見ればどのように体に吸収されるのだろうと考えていました。昔描いた夢の延長線で、本当にやりたい研究は、食べたものが体の中でどのように動いているのかを細かく調べることなのだと気がつきました。学問の世界で栄養に関する研究をしたいと思いだり着いたのが、現在所属している理化学研究所の栄養応答研究チームです。博士学生という身分ですが、理研に雇用される形で、本当にやりたい研究をしながら生活しています。

さて、22歳を過ぎた今、中高時代の友人と会うと、当時の夢を叶えている人や、夢の途中にいる人、合わなかったと気づき新たな目標に向かっていている人がいます。共通しているのは、今でも夢や目標を持ち、いきいきしているということです。「22歳の夢」を描くために何度も自身と向き合った時間があったからこそ、周りに流されて人生に妥協せず、握めるチャンスは逃さないような、芯と行動力のある友人がたくさんいます。5年、10年後を想像する力は、その先になっても、自身の意志を持って決定できる力になるのだと思います。

聖和学院は少人数で、勉強や進路について先生に質問しやすい環境や、多岐にわたるプレゼンテーション、ディスカッションの機会に恵まれていました。英語教育に力を入れている点も含め、大学受験の枠を超えて、多方面から生徒一人ひとりの夢を応援する教育があったと感じています。清楚で爽やかな制服の下に野望を秘めていた聖和生たちは、22歳のその先で、それぞれが自分の人生の主人公として生きています。



2022年～2026年3月 大学現役合格者

※在籍116名

大阪大学	1	日本女子大学	9	明治学院大学	6	龍谷大学	2
東京外国語大学	1	立命館大学	7	日本大学	3	東海大学	8
東京海洋大学	1	明治大学	4	東洋大学	2	神奈川大学	5
横浜市立大学	4	青山学院大学	3	駒澤大学	2	武蔵野大学	3
県立保健福祉大学	2	立教大学	6	専修大学	2	桜美林大学	1
国際基督教大学	1	中央大学	2	東京医科大学	1	関東学院大学	5
早稲田大学	6	法政大学	2	東京農業大学	5	昭和女子大学	5
慶應義塾大学	1	学習院大学	2	國學院大學	2	実践女子大学	1
上智大学	6	神奈川歯科大学	1	工学院大学	2	フェリス学院大学	5
同志社大学	2	東邦大学	1	北里大学	1	メリーランド大学	1
関西学院大学	2	武蔵大学	1	国際医療福祉大学	1		

※5年間の全大学名は別紙をご参照ください。

等

SCHOOL EVENTS

いつもあたたかな感動で包まれている聖和学院の学校行事。

みんなで力を合わせて創り上げるから、喜びは何倍にもなります。

礼拝や クリスマス音楽会のように、祈りとともに自分と向き合う行事もあり、一人ひとりの心に「成長」という大きな軌跡を残しています。

ふだんの授業では得られない「学び」や「気づき」を通して、生徒一人ひとりが成長していきます。



4月

- 入学式
- 前期始業式
- 実力試験
- イースター礼拝
- 新入生オリエンテーション(中1)
- 大学キャンパスツアー
- 創立記念日
- 修学旅行(高2)

5月

- 母の日礼拝
- 授業参観、保護者会
- 模擬試験(高校)
- 前期中間試験
- 英語検定受検
- フィールドトリップ(中学)



6月

- 花の日礼拝
- JAL マナー講座
- 芸術鑑賞
- 体育祭・聖和祭(隔年)
- 大学キャンパスツアー



7月

- 進路説明会
- 文理選択説明会
- 宗教講演会
- 漢字検定受検
- イングリッシュキャンプ(高1)
- SONY DX キャンプ(高1)



8月

- 夏期講習
- イングリッシュキャンプ(中学)
- SONY DX キャンプ(中学)

9月

- 防犯教室
- JAL マナー講座
- 保護者会
- 前期期末試験
- 球技大会(バレーボール)
- 前期終業式



10月

- 後期始業式
- 模擬試験(高校)
- プレゼンテーションコンテスト全校大会
- 数学検定受検
- 英語検定受検
- 漢字検定受検
- フィールドトリップ(中学)

11月

- 感謝祭礼拝
- 実力テスト(全校)
- 点灯礼拝
- 後期中間試験
- 修学旅行(中3)



12月

- クリスマス燭火礼拝
- クリスマス音楽会
- 英語スピーチコンテスト
- SONY 合同ワークショップ(中学)



1月

- 模擬試験(高校)
- 英語検定受検
- 宗教講演会
- 百人一首大会
- フィールドトリップ(中学)



2月

- 卒業礼拝
- 送別会
- JAL マナー講座
- CIRCLE WISE
- ビブリオバトル全校大会

3月

- 卒業式
- 後期期末試験
- スポーツフェスティバル
- 後期終業式



CLUB ACTIVITIES

中学生・高校生が合同で取り組むクラブ活動。運動系9・文化系14のクラブが活発に活動しています。それぞれの目標に向かって、ともに助け合い、励まし合い、ときにはぶつかり合いながら大きく成長する、かけがえのない時間を過ごします。
クラスや学年を超えたあたたかな交流が、聖和学院ならではのアットホームな雰囲気をつくっています。



軽音楽部



バレーボール部



卓球部



剣道部



幼児生活研究部



ダンス部



茶道部



放送環境部

運動部

バレーボール部
バスケットボール部
ダンス部
バドミントン部
新体操部
陸上競技部
テニス部
卓球部
剣道部

文化部

ESS
調理部
華道部
演劇部
合唱部
パソコン部
美術部
手芸部
吹奏楽部

幼児生活研究部
茶道部
放送環境部
科学部
軽音楽部

いろいろなクラブが
そろっているので
誰もが夢中になれる場所を
見つけれられます。
先輩や後輩とも仲よくなれて、
とっても楽しいですよ！



SCHOOL UNIFORMS

聖和学院の制服は逗子のさわやかな海によく似合う、ネイビーを基調としたセーラー服です。中学生・高校生とも夏服(半袖・長袖)は白、冬服は紺色で、清楚で品のあるデザインとして好評です。ポイントは、胸元の「S・G」の文字と腕章のロゴマークです。腕章は「愛の広がり」をイメージした SEIWA の「S」と、Love の「L」をデザインしたものです。



夏服(長袖)

夏服(半袖)

冬服

ポロシャツ・キュロット

UNIFORM ITEMS

季節に応じて、ホワイトまたはネイビーのカーディガン、ブレザー・コート、タイツなどを着用して快適に過ごすことができます。通学カバンはボストンタイプとリュックタイプを選べます。

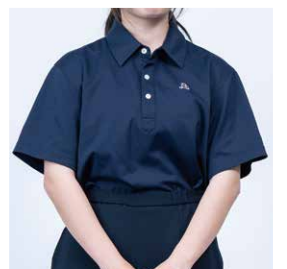
カーディガン(ネイビー)



カーディガン(ホワイト)



ポロシャツ(紺)



スカーフ



通学カバン



通学リュック



トレーナー



FACILITIES

校内のあらゆる場所で安定したWi-Fi環境を利用できるよう全館にAPを整備。全教室に電子黒板が設置され、ICTを活用した授業が行われています。また栽培収穫の農業体験を通して自然科学が学べる聖和学院自然教室ではSTEAM教育を行っています。安心・安全への取り組みとして感染症対策をはじめ、災害時・非常時の安全対策を講じています。2022年、「未来共創力」を身につけるための一環として、主体的な探究活動を実践するコ・クリエイションプラザが誕生。あなたを未来の主役にする教育環境が整いました。



◆チャペル



◆クリエイション スペース



◆ラーニングスペース



◆クリエイションカフェ



◆ICTルーム



◆キャリアカウンセリングルーム



◆クッキングスペース



◆茶室



◆体育館
全館(1F・2F)冷暖房完備
wifi完備(最大150台まで接続可能)



◆創立者 武藤功記念館

コ・クリエイションプラザ

SEIWA commons開設

南校舎1階に「コ・クリエイションプラザCo-Creation Plaza」を開設しました。そのメインとなるのが、自主学習空間「SEIWA commons (Learning Commons)」。

明るく居心地のいい環境で、地域・他校の皆様とともに成長し、未来を創る新しい学びの場です。ハイスペックなIT機器で情報を収集したり、新たな創造に取り組んだり、グループワークをしたりと、生徒は目を輝かせて、いきいきと活動しています。



電子図書館

SEIWA E-Library

毎月、様々なジャンルの新着本を生徒は楽しみにしています。



卒業生からの MESSAGE

学院生活を通して、自ら行動してきた 経験の積み重ねが評価につながりました

2026年卒 A.Y.さん
慶應義塾大学 法学部 1年

私は課外活動や自主研究を通して、社会制度や公共政策への関心高め、慶應義塾大学法学部政治学科を志望しました。受験に向けては小論文の推敲を重ね、自分の考えを論理的に言語化する力を磨きました。また、英語資格の取得や平均評定の維持にも努めました。さらに、自らの問題意識をもとに文献調査や実施インタビュー、フィールドワークなど主体的な探究活動にも取り組みました。日頃から社会問題に関心を持ち、自ら行動してきた経験の積み重ねが評価につながったと感じています。

自分の人生の軸を見つけれられました

2024年卒 I.N.さん
国際基督教大学 2年

英語と対話の時間が大きな魅力の1つです。英語の時間では英語をツールとして使う練習ができ、確かな英語運用能力を身につけられました。また対話の時間では生徒はもちろん、先生とも議論を交わし、対話を通じた相互理解の大切さを実感しました。これらの経験から真の国際人として、国際社会に貢献したいという強い思いが芽生えました。このようなきっかけを与え、サポートしてくださる環境で過ごせたことは本当に幸せだったと感じています。聖和学院での6年間は私の人生の礎です。

個性を尊重し合う温かい 雰囲気にあふれている

2023年卒 K.S.さん
東京外国語大学 言語文化学部 3年

聖和学院はアットホームですが、一人ひとり違う個性が輝いています。そしてそれを尊重し合う温かい雰囲気にあふれている学校です。私は3つの兼部をしながら、授業を最大限に活用して塾に通うことなく東京外大に現役合格できました。英検もサポート体制が充実しており、1級に合格できたことで入試がとて有利になりました。一つのこと夢中になるのもよし、様々なことに挑戦するのもよし、無駄なことは何一つありません。ぜひ聖和学院で自分の道を進んでほしいと思います。

英検準一級の取得に 丁寧な指導をいただきました

2022年卒 M.G.さん
早稲田大学 国際教養学部 4年

聖和学院は、先生方が生徒ひとりひとりに熱心に向き合ってくださいます。授業でわからないことがあった際には質問をすれば解決できるまで熱心に教えてくださいました。また、英検取得に力を入れている点が大きな強みです。中学生の頃から英検の対策講座や面接対策を丁寧にご指導いただき、高校二年時に英検準一級に合格したことで、大学受験においての大きなアドバンテージになりました。

学院の先生方とともに過ごした クラスメイトは私にとって一生の宝物です

2021年卒 A.K.さん
明治大学 商学部 卒業

聖和学院で6年間とともに過ごしたクラスメイトは、毎日笑い合ったり様々なことに挑戦したり、時には困難なことがあってもお互いに気づき合い、サポートし合える最高の仲間です。高校時代にはセーリング競技にも力を入れ、全日本420級選手権(80隻)で女子1位となり、フランスで開催された世界選手権に出場しました。大学入学後も体育会ヨット部に所属し、大会に向けて日々練習に励んでおります。

自らの意見を発信する場を通して 積極性を身につけました

2020年卒 N.I.さん
上智大学 文学部 卒業 IT企業勤務

聖和学院では、グローバル社会を見据えた幅広い教育を受けられます。毎日の英語学習により言語を学ぶ楽しさを知るとともに、小論文やプレゼンテーションなど自らの意見を発信する場が多かったため、積極性を身につけることができました。また常に自ら挨拶をすることを習慣化し、「JALマナー講座」では礼儀作法やマナー、言葉遣いを丁寧にご指導いただくなど、教養を培いました。